



nouvelle Fontaine

発行日 2019年10月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

「岸和田方式」の変化とこれから

岸和田文化事業協会会長 齊藤 憲子

「岸和田方式」という言葉をご存じでしょうか？パソコンで検索すると人事制度の方法として様々なサイトが見つかります。けれど初めてその言葉を導き出したのは、1991年徳島で開催された「第1回全国文化の見えるまちづくりフォーラム」においてでした。文化の発信方法の違いを「東の水戸、西の岸和田」と評されたのです。水戸市では総合芸術館に芸術監督制度を導入、一流の芸術関係者を任命し専属の楽団・劇団を抱え、文化振興財団が運営していく方法を取り入れました。

一方岸和田市では、市立文化ホールの運営を市民に委託することで文化活動の活性化を目指しました。①市の文化事業と文化会館の運営委託、②市民文化基金の創設、③芸術文化の収集、④芸術文化の国際交流を行う、という目的で「岸和田市市民文化事業協会」を発足。まだ指定管理制度がなかった時代に、自泉会館の運営管理を任されたのです。

経済発展とともに各地で多くの文化ホールが建設された時代でした。2001年国が「文化芸術振興基本法」を、2005年には大阪府が「大阪文化振興条例」を制定。この流れを受け、2013年岸和田市では「岸和田市文化振興条例」を定めました。「岸和田文化事業協会」は、2002年に解散した「岸和田市市民文化事業協会」の後を受け継いで現在に至っています。

徳島の文化フォーラムから28年。私たち岸和田文化事業協会は、2006年度より導入され

た指定管理者制度により自泉会館の管理運営を市より委託されています（現在3回目。5年任期の4年目）。2015年には「文化花咲かそう推進プラン」の施行により、「地域文化の振興への貢献、豊かな市民生活への寄与」という項目が、自泉会館の指定管理者を担うべき役割として提示されました。

この間、岸和田のみならず日本社会も大きく変化しました。一億総活躍社会のスローガンを掲げ、男も女も老いも若きも就労することを促されています。働く期間が増え自由に使えるひとときは減少し、文化活動に参加する時間も機会も手に入りにくくなってしまいました。

こうした変化の中、岸和田文化事業協会がどのような活動をし、市民や文化団体と手をつないでいくのか。より真剣に考え取り組んでいく時がきたのです。

社会と文化は車の両輪のようなもの。社会の変化に伴い、文化の普及の仕方もまた変化が必要といえるでしょう。岸和田方式を作り出した先輩方を手本に、現在に見合った方法を模索し、さらなる発展を目指したい。会員はもちろん、関わってくださる全ての皆さんの意見に耳を傾け、岸和田ならではの文化を活発に広げていけたらと考えます。文化を愛するあなた、文化を大切にしているあなた。一緒に大きな文化の花を、ここ岸和田で咲かせましょう。

はじめて知る「岸和田煉瓦」

Ⅲ 泉州の煉瓦が国防を 担っていた！

岸和田煉瓦創業家とは関係のない 山岡 邦章



生石山第一砲台跡

煉瓦と戦艦

大阪湾の南端に位置する紀淡海峡には、旧陸軍が煉瓦で構築した由良要塞があります。この要塞は逼迫する情勢に備える近代要塞として明治政府が整備したという性格上、当時の最高技術と資金を投入した煉瓦構造物であり、巨額の投資をした砲台が現在も遺構として残り、当時の緊迫した状況を知る上での貴重な歴史遺産です。

要塞は淡路島の由良、鳴門、和歌山の加太、深山、友ヶ島などに砲台を、その周囲に堡塁砲台を築き、東京湾要塞、下関要塞と並んでの一等要塞として、重要都市大阪の防衛にあたりました。この要塞は紀淡海峡という狭いエリアに国内最高密度の火砲を備えており、旅順要塞への砲撃で有名な28cm榴弾砲をはじめ、27cm加農砲など曲射、平射弾道の重砲を複数種類配備、複合して重なり合う射程距離と有効射界をみれば、当初の敵国である清国はもちろん、日露戦争当時のロシア艦隊がこの海峡を無傷で突破し、大阪を強襲するのは極めて困難なものです。

これらの砲台遺構は由良地区などでは終戦直後に破壊を受けたものもありますが、友ヶ島、加太・深山地区などでは現在も比較的良好に残ります。

煉瓦の使用にあたって耐弾性確保のための厳格な築城基準や仕様があり、また築造開始年代や資材運搬などの条件から、これらの要塞に岸和田煉瓦をはじめ、地元泉州の煉瓦製造会社の煉瓦が使用されていることはその品質を知るうえで極めて重要です。

煉瓦の要塞が持つ意味

明治維新以降、急激な近代化を遂げた日本でしたが、まだ明治10～20年代では、国力と海軍力の不足は絶対的で、初期の仮想敵国である清国の北

洋艦隊に対抗できる艦隊は編成できなかったのです。そもそも戦艦自体をイギリスなどから購入していたのですから、その実力は欧米列強を超えるものではありません。

明治19年の長崎事件、24年、25年の清国の戦艦「定遠」「鎮遠」による砲艦外交は日本には脅威であり、軍事的劣位を痛感することになります。すでに明治18年には東京湾に猿島砲台を、22年には淡路島の由良と生石山^{おいしやま}で砲台を完成させていた日本ですが、この砲艦外交以降、東京湾内の海堡、紀淡海峡、関門海峡と、この3か所で砲台群の構築を加速させます。しかし日本には、巨砲を搭載した戦艦からの攻撃を防御する近代的な砲台は構築されたことはなく、一からの試行錯誤で建設されました。そこに煉瓦が使われたのです。煉瓦が国防の最前線に立った時代でした。

つまり、明治時代前期、日本では欧米列強に対抗できる戦艦は造れなかったのですが、煉瓦は作れたのです。日本の煉瓦造要塞は、不足する戦艦隊の代用であり、日清戦争当時、そして海軍力を増した日露戦争当時でも、連合艦隊として決戦艦隊を1セットしか用意できない劣位の島国が、国土を盾にロシア極東艦隊、そして押し寄せるバルチック艦隊の2つの戦艦隊の脅威に対抗する最期の手段が、煉瓦の要塞だったのです。いまでは考えられませんが、泉州の煉瓦が国防の最前線を担っていたという時代があったこと、知っておいてもらいたいのです。

2019年11月9日(土)～10日(日)

「知ってほしい『煉瓦製造の魅力』」

～岸和田・泉州地域～

基調講演・パネルディスカッション・

展示・見学会を開催します。 ※詳しくはp8



豊かな自然につつまれ、古くからの歴史、文化が継承されている岸和田市。その奥深さを再発見して、それらを多くの人に伝えましょう。岸和田市の魅力あふれる不思議の扉を、問題形式で出題する「めざせ! 岸和田マイスター」。今回は、岸和田藩と岡部氏編です。

1 岡部家の菩提寺は？

- A 海岸寺
- B 泉光寺
- C 神於寺

2 徳川將軍家供養のために岡部氏が建立した寺は？

- A 海岸寺
- B 泉光寺
- C 願泉寺

3 幕府より大和川付替普請を命じられた藩主は？

- A 岡部宜勝 (のぶかつ)
- B 岡部行隆 (ゆきたか)
- C 岡部長泰 (ながやす)

4 大坂冬の陣に参陣経験のある藩主は？

- A 岡部宜勝 (のぶかつ)
- B 岡部行隆 (ゆきたか)
- C 岡部長泰 (ながやす)

5 岸和田藩が藩札を発行したのは全国で何番目？

- A 1 番目
- B 2 番目
- C 5 番目

6 岡部長著(ながあきら)が建立した寺院は？

- A 泉光寺
- B 十輪寺
- C 本徳寺

7 岡部長備(ながとも)が請取を命じられた田沼氏の城は？

- A 相良城
- B 佐和山城
- C 坂本城

8 岡部長和(ながより)が鎮圧に出兵した乱は？

- A 佐賀の乱
- B 天草の乱
- C 大塩の乱

9 幕命により岸和田藩が7回接待を担当した相手は？

- A 朝鮮通信使
- B 紀州藩主
- C 勅使

10 明治維新後、最後の藩主・岡部長職(ながもと)の留学先は？

- A フランス
- B イギリス
- C アメリカ

[参考：岡部氏歴代岸和田藩主]

- ①岡部宜勝 ②岡部行隆 ③岡部長泰 ④岡部長敬
- ⑤岡部長著 ⑥岡部長住 ⑦岡部長修 ⑧岡部長備
- ⑨岡部長慎 ⑩岡部長和 ⑪岡部長発 ⑫岡部長寛
- ⑬岡部長職



※解答は、7面に掲載しています。

自泉会館のクリスマスは楽しいことがいっぱい!!

第3回 自泉クリスマス会

2019年12月14日(土)・15日(日)

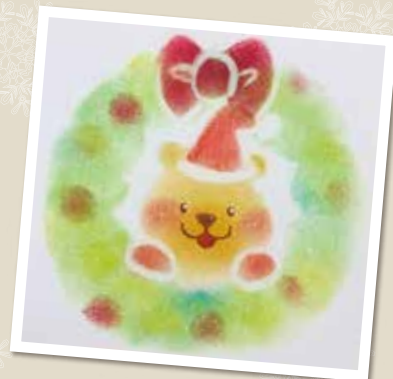


今年で3回目となる自泉クリスマス会
音楽で心洗われ、ダンスでウキウキ、手作り作品に満足100パーセント!
今回もステキなプログラムで皆さまをお待ちしています。
ご家族と、お友達と、もちろんおひとり様也大歓迎です。
遊びにいらしてくださいね。

【自泉会館ホール】

12月15日(日) 午後1時開演

- 1部 小学生～大人の一般公募者と岸和田文化事業協会有志による聖歌隊合唱
第8回自泉ジュニアコンサート優秀賞受賞者の演奏
- 2部 子どもたちによるピアノ連弾と朗読「14ひきのさむいふゆ」
- 3部 自泉会館利用の市民団体による発表会



【自泉会館展示室】

12月14日(土)・15日(日) 午前10時～午後5時

各種ワークショップ

(ワークショップ受付は午後3時まで)

- 木工玩具 (牛滝工房)
- ペンダント作り (ハッピースマイル)
- フラワーアレンジクリスマスバージョン (ちょここ)
- 眼鏡チェーン (福の紡)
- 干支のぬいぐるみ (由季パッチワーククラブ)
- 友禅染のランチョンマット (アトリエローズガーデン)
- がま口キーホルダー、印鑑ケース、キーケース (Plus one)
- パステルアート (kuu)
- クリスマスカラーで作るかわいいかご (Rei)
- つまみ細工 (colamoro)

※ワークショップの内容は予定ですので変更になる場合があります。



Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

篠笛に魅せられて 「なよたけの会」

岸和田祭に欠かせない笛、篠笛。

その笛に魅せられて「自分も吹いてみたい、迷ったときは、やってみる」という好奇心から習い始めた鈴原美鶴さん。

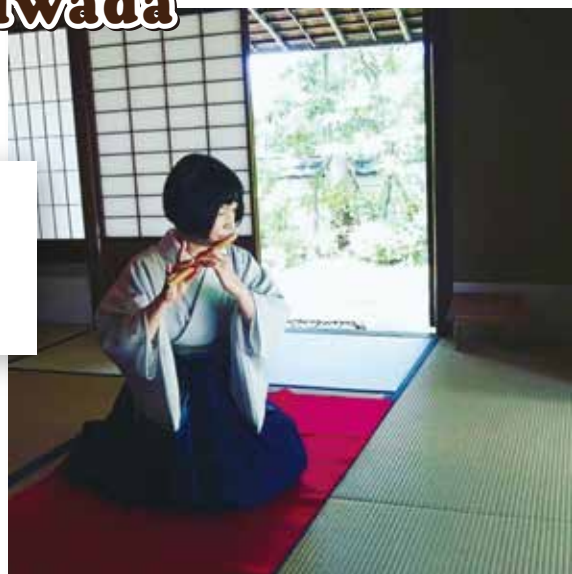
今では、兵主神社や近鉄文化サロン阿倍野で「なよたけの会」という教室をされています。

15年前、お教室をされるにあたってのきっかけは「男の子にはお祭りというステージがありますが、女の子にも笛を楽しむ機会を作りたい」との思いからだそうです。

現在、兵主神社で習っている女の子は小学5年生。約1年たつそうですが、大変お上手でした。



今年4月に兵主神社で開催された「音と踊りのイベントGENTEN」では、【竹笛づくりワークショップ】を企画。参加された親子は、30分から1時間かけて音が出るところまで作りました。自作の笛はカスタマイズできるので、自分だけの音色になりますね。



篠笛に使われている「なよたけ」は、細くてしなやかな篠竹（メダケ）のことで、竹の太さや密度によって音が変わり、地域によって長さ、孔の数も違うそうです。

取材に伺った3人も体験させていただき、息の出し方の練習として鈴原さんが思い付いた「小道具」を使うと、自分の息の方向がわかり、なんとか音が出せるようになりました。こうなると楽しくなりますね。

習いに来られた方の中には、音がすぐに出て自己流で練習される方や、すぐに出なかったことが悔しくて頑張り、今では美しい音色を奏でる方など、さまざまだそうです。

以前は「笛こるり」として3人で活動されていましたが、現在はメンバーが育児中のため休止しています。「いつか岸和田から笛師が誕生すると嬉しい」という鈴原さん。夢がかなうといいですね。

（取材：小木曾、近江、小末）

なよたけの会は、優しい音色と自己表現を目指しています。

- ・自分の音と向き合う時間
- ・自分の身体と向き合う時間
- ・自分の心と向き合う時間

豊かな時間を重ねて、豊かな人生を紡いでいきましょう。

<教室案内>

兵主神社 岸和田市西之内町 1-1
月曜日、木曜日各月 2 回 計月 4 回
午後 6 時 30 分から入室可 午後 7 時～8 時
見学、体験歓迎いたします。
鈴原美鶴 090-8239-1183
nayotake_no_kai@yahoo.co.jp
<http://nayotakenokai.web.fc2.com/>
<https://www.facebook.com/nayotakenokai/>





【本とわたし】

近江 和代

一人っ子の私は本が大好きで一番の友達でした。
絵本に始まり童話、漫画、ミステリー、詩集、歴史など、学生時代の私は手あたり次第に読み漁る、という様な読み方で内容を深く掘り下げる事はありませんでした。

社会人になると、気になるところに線を引き付箋を貼りと、少し落ち着いて向き合う事で自分の思いや考え方の違いを知る事が出来ました。

幼稚園勤務を始めた頃は絵本との戦いでした。短い文章や少ない言葉でどう伝えるか？小さな子どもたちを前に悪戦苦闘の連続でしたがその反応は様々で、私に色々な事を気づかせてくれました。

結婚して岸和田市民となって早38年。

3人の子育て中は、市民センターや図書館、自泉会館など多くの施設、多くの人にお世話になりました。

今では孫を連れて図書館に通い、絵本の読み聞かせをする毎日ですが、私の読み方ひとつで聞く側の反応も違ってきます。それは私の癖だったり私らしさでもある訳で、自分を知る事の出来る大切なものだと思っています。

今後は岸和田文化事業協会の会員の一人として岸和田の文化に触れながら、また新しい自分を見つける事ができれば幸いです。



【陶芸を知って】

坂東 重信

私の唯一の趣味は釣りでしたが、48歳の時に釣行した海で死にかけました。

入院して3日間、ずっと見る夢というか何というかわかりませんが、真っ暗な中でふんわりと浮かんでゆっくりゆっくり沈んでいく姿。頭の中でこれはあかん死んでしまうと気がついたら、全身汗びっしょりの自分がいました。

以来釣りもいいけど、何か歳をとっても続けられる趣味をと考えていた時、常盤青少年会館の館長さんと出会い、陶芸クラブを知りました。私は心が弾み、すぐ入会させてもらいました。

そこから3か月。このクラブで土をいじり、物を作り、喜び楽しんでいた時に、講師から「本格的に陶芸を習うなら、西念陶器研究所で1年かけて基礎から教えてくれるコースがある」と聞きました。

講師は桜まつりの会場にも案内してくれました。展示販売されている各種の焼き物を見てその数々の作品に感激し「自分がさがしていたものはこれや！これならずっと続けることができる」と、その日のうちに入会手続きをし、5月から月に3回通いました。

最初は茶碗作りですが思っているほど円形にはならず、またきれいに仕上がったかなと思って焼成すると楕円形になったりの連続でしたが、やっと何とか円く仕上がるようになりました。

陶芸を知って、あっという間の1年でした。



Event Report

アンケートからの技料

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

第6回自泉Re.フレッシュコンサート 令和元年8月3日(土)午後6時30分開演 入場者数 31人



〈皆さんの声〉

- ◆楽しく歌って、笑顔が素敵でした。
- ◆それぞれ一生懸命演奏してくださり、とても良かったです。
- ◆ゆったりとした気持ちで聴け、楽しませていただきました。

第8回自泉ジュニアコンサート 令和元年8月18日(日)午後2時開演 入場者数 105人



〈皆さんの声〉

- ◆いろんなジャンルの楽器演奏が生で聴くことができ、大変うれしいです。
- ◆こんな機会は初めてでしたが、子どもたちの文化芸術への大切な機会だと思います。

第58回自泉フレッシュコンサート 令和元年10月4日(金)午後6時30分開演 入場者数 31人



〈皆さんの声〉

- ◆きれいな歌声で充実した時間を過ごせました。
- ◆ピアノ演奏も声楽もどちらも素敵で豊かな気持ちになりました。
- ◆とても贅沢な時間を頂きました。

JISEN CONTEMPORARY SHORT FILM & VIDEO (自泉コンテンポラリーショートフィルム&ビデオ)

作品タイトル:

「蟻と魚と鳥の会おう処」

作家名:渡邊 ひろ子

上映期間:

令和元年7月9日(火)～8月4日(日)



作品タイトル:

「常世現世 トコウツシヨ」

作家名:増田 絢子

上映期間:

令和元年8月6日(火)～9月1日(日)



作品タイトル:「Jewel 2018」

作家名:福田 真知

上映期間:

令和元年9月3日(火)～9月29日(日)

令和元年11月～令和2年3月 今後の事業予定

※予定ですので変更になる場合があります。ご了承ください。

令和2年3月まで

令和元年 11月3日(日・祝)

11月4日(月・振)

11月9日(土)

11月10日(日)

11月12日(火)

12月10日(火)

12月14日(土)

12月14日(土)・15日(日)

12月15日(日)

令和2年 1月17日(金)～28日(火)

1月21日(火)

2月2日(日)

JISEN CONTEMPORARY SHORT FILM & VIDEO

公募で選出または推薦作品を、自泉会館ホール壁面に、毎月1作品、午前9時から午後5時まで投影

文化の日祝典記念事業

「不思議大好き!イリュージョンマジック」(マドカホール)

研修旅行「奈良・唐招提寺への旅～中国茶のルーツを探しに～」

知ってほしい「煉瓦製造の魅力」展示・講演会

知ってほしい「煉瓦製造の魅力」展示・見学会

岸和田慢歩Ⅲ 塔原街道・牛滝街道を歩く①(募集終了)

岸和田慢歩Ⅲ 塔原街道・牛滝街道を歩く②(募集終了)

第59回自泉フレッシュコンサート

第3回自泉クリスマス会(展示室)

第3回自泉クリスマス会(ホール)

現代アート展「HER/HISTORY」

岸和田慢歩Ⅲ 塔原街道・牛滝街道を歩く③(募集終了)

市民参加型演劇「黄昏が恋しくて」

お願い

岸和田文化事業協会で取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務所まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務所までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

【3面「めざせ!岸和田マイスター」の解答】 ①B ②A ③C ④A ⑤B ⑥B ⑦A ⑧C ⑨A ⑩C

【お詫び】 64号の訂正 5ページ「めざせ!岸和田マイスター」の間9.C:「沼 任」ではなく「沼 任世」の間違いです。

JISEN CONTEMPORARY SHORT FILM & VIDEO (自泉コンテンポラリーショートフィルム&ビデオ)

公募で選出または推薦作品を、自泉会館ホール壁面に投影しています。

**期 間:令和2年3月まで毎月1作品、
午前9時から午後5時まで**

(ただし、ホール事業等の妨げになる場合、投影しないこともあります。)
詳しくは、ホームページをご覧ください。 <https://jisenart.jimdofree.com>

第59回自泉フレッシュコンサート

**日 時:令和元年12月14日(土)
午後6時30分開演(30分前開場)**

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:高安 美帆・富上 真生(ピアノデュオ)

岸元 大周(ピアノ)

廣中 愛(ソプラノ)

入場料:一般前売1,200円(当日200円増)

会員前売1,000円(当日200円増)

第3回自泉クリスマス会

ホール

※詳しくは4面に記載

**聖歌隊合唱、
第8回自泉ジュニアコンサート優秀賞者の演奏 他**

日 時:令和元年12月15日(日)午後1時開演(30分前開場)

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

入場料:1,000円(お菓子付き)

展示室

教室やサークルの活動紹介とワークショップ

日 時:令和元年12月14日(土)・15日(日)

午前10時～午後5時(ワークショップ受付は午後3時まで)

会 場:岸和田市立自泉会館展示室

入場料:無料(ワークショップに参加される方は材料費が必要)

現代アート展「HER/HISTORY」

日 時:令和2年1月17日(金)～1月28日(火)

午前11時～午後6時(土・日は午後7時迄/月曜日は休館日)

会 場:岸和田市立自泉会館展示室

入場料:無料

知ってほしい「煉瓦製造の魅力」 ～岸和田・泉州地域～

①基調講演「煉瓦生産と近代考古学」と
パネルディスカッション

(講師:大阪学院大学教授 藤原学氏)

日時:令和元年11月9日(土)午後1時～5時

場所:岸和田市立自泉会館ホール

費用:1000円(資料代含む)

②煉瓦関係力所の見学会

日時:令和元年11月10日(日)午前9時～午後3時頃

場所:岸和田周辺

費用:500円(資料代含む)+実費(交通費・入館料別)

③煉瓦に関する展示

日時:令和元年11月9日(土)～11月10日(日)

午前10時～午後5時

場所:岸和田市立自泉会館展示室

費用:無料

①と②への参加希望の方は、往復はがきにて受付いたします。

・往復はがき宛先:

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10 岸和田文化事業協会

・往復はがき記入事項:

(1) ①講演と②見学会の参加希望

(2) 氏名

(3) 連絡先(携帯電話番号)

をご記入のうえ10月31日までに投函ください。

市民参加型演劇公演「黄昏が恋しくて」

日 時:令和2年2月2日(日)

午後2時開演(30分前開場)

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

作・演出・指導:清水伸吾(Shibaiya遊歩堂代表)

出演者:一般公募し、8月20日のオーディションで

選ばれ稽古を重ねてきた者

入場料:前売1,500円(当日500円増)

■お問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで

TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

●文化の日祝典記念事業「不思議大好き!イリュージョンマジック」

日 時:11月3日(日・祝)午前11時45分開演

場 所:マドカホール(荒木町1丁目)

出 演:HIROTO PROJECT

入場料:無 料(往復はがきで申し込み、または整理券をお求めください。)

定 員:300人(申し込み先着順)

受 付:10月2日(水)午前9時から申込先着順

申込方法:①往復はがきでお申込みください。

はがきに住所、氏名(返信はがきには宛名)、電話番号、人数(2人まで)

を記入し、マドカホール「文化の日祝典」係まで

※マドカホール 〒596-0004 岸和田市荒木町1-17-1

②整理券をお求めください。(配布時間は午前9時～午後5時)

マドカホール・自泉会館で整理券を配付します。※1人2枚まで

問い合わせ:マドカホール ☎443-3800 月曜日休館

文化情報

2019年度(2019年4月～2020年3月)

会員募集

年会費	個人会員(1口)	2,000円	団体会員(1口)	5,000円
(入会費不要)	家族会員(1口)	1,000円	法人会員(1口)	10,000円
	(個人会員の同居家族)		特別会員(1口)	50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。

郵便振込の場合は 口座番号 00970—9—28145

加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで

TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

nouvelle
Fontaine

vol.65

発行:岸和田文化事業協会

発行日:2019年10月25日

◆事務局

〒596-0073

岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 近江和代・小木曾由季・黒木幸子・小末もとえ

編集後記...

子どもの頃、秋の遠足は歩くのが基本でした。神於山や牛滝山の湿った土や木の香り、赤い葉っぱ、黄色の葉っぱ、栗のイガイガ、アケビ、名前を知らないピカピカの木の果。歌いながら歩いた山道を、思い出して辿ってみたい五十歳の秋です。(小 末)

<http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/>

岸和田文化事業協会

検索

